

学年	高校3年	教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	単位数	4
教科書名	Revised POLESTAR English Expression II (数研出版)			副教材名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Grammar Collection Select Version</li> <li>● 総合英語 FACTBOOK</li> <li>● スクランブル英文法・語法 4th Edition</li> </ul>		
コース・クラス	スポーツ、芸能						

### 1. 目標

数学の基本的な原理や法則を理解し、知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力と態度を育てる。多くの応用問題を通じて、論理的な思考と問題解決の仕方を修得することを目標とする。

### 2. 授業のねらい

1. 基礎学力到達度テストにおいて平均点プラス10点獲得を目標とする。
2. 基礎学力到達度テストに対応できる文法力が身につくようにする。
3. 重要事項の解説や解法の手順の解説による理解と、学習した内容の繰り返しを通して、知識を定着させるとともに入試問題に対応できる力が身につくようにする。
4. 英文の作りを理解し、正しい語法の使い方を身につける。

### 3. 授業の進め方

1. 大学入試に出題される頻度の高い文法事項・イディオムや出題形式を重点的に扱う演習形式を主体とする。
2. 文法力構築のために理解すべき部分の解説と、解法の手順の説明を通して自分で解く力がつくようにする。
3. 覚えるべきところは整理し、プリントや小テスト等での繰り返しを通して知識を定着させる。
4. 定期試験に加え、定期的に小テストを実施することで、文法事項の理解や定着を確認する。
5. 休暇時などを利用して課題を提出させ、復習や補習の機会を設ける。

#### 4. 学習上の留意点

1. 休み時間に教材の準備を必ずしておき、忘れ物があった場合は授業前に自分でその対応をしておく。
2. 授業に不要な物が身の回りにあり、学習の妨げとなっていないかを確認し、学習に集中しやすい環境を整える。
3. プリント類は各自でファイルを用意して管理する。

#### 5. 定期試験

1. 授業で扱った内容、指定した教材の範囲から主に出題する。
2. 初見実力問題を一部出題する。
3. 日大基礎学力到達度テストと同じ問題形式で一部出題する。
4. 学習した内容の理解と定着の確認、さらに実践力を高める機会となるように意図して作成する。
5. おおよその出題範囲
  - ① 1学期中間試験…仮定法、接続詞、比較、助動詞
  - ② 1学期期末試験…時制、受動態、不定詞、動名詞、分詞
  - ③ 2学期中間試験…関係詞、重要イディオム、動詞/代名詞/副詞/名詞の語法
  - ④ 2学期期末試験…否定・倒置・省略・強調、4月からの既習範囲すべて

#### 6. 評価方法

1. 定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

7. 授業計画

学期	月	単元・学習項目 (単元名：Grammar Collection Select Version より)	評価方法	到達目標
一学期	4・5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson4 仮定法</li> <li>● Lesson 11 接続詞</li> <li>● Lesson 15 比較</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題</li> <li>● 確認テスト</li> <li>● 定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高校英語で習う範囲の文法事項を理解することができる。</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson 6 助動詞</li> <li>● Lesson1 時制</li> <li>● Lesson2 受動態</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 完了形が表す意味を理解し、基本時制との違いを押さえる。</li> <li>● 動詞が動詞以外の働きをする場合（準動詞）の形を押さえ、文や語法に合わせて適切な解答ができる。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson5 不定詞</li> <li>● Lesson6 動名詞</li> <li>● Lesson7 分詞</li> <li>● Lesson3 助動詞</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動詞の語法を理解し、正しく文型を把握できるようにし、並び替え問題の解法や英文読解力を身につける。</li> <li>● 関係詞の用法をマスターする。特に基礎学でも最頻出の「what」の使い方を理解する。</li> <li>● 助動詞・接続詞・比較表現の意味を理解し、文脈に合わせて適切に解答ができる。</li> <li>● シチュエーションに合わせて動詞の形を変化させるなど正しく仮定法を理解する。</li> <li>● プリントや確認テストを実施し、繰り返し動詞の語法問題に触れさせ、覚えるべき知識を定着させる。</li> <li>● 日大基礎学力到達度試験の過去問題に挑戦し、出題形式や問われやすい問題パターンに慣れる。</li> </ul>

一 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重要イディオム</li> <li>● 会話表現</li> <li>● Lesson 10 関係詞</li> <li>● Lesson 8・9 動詞の語法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題提出</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動詞の語法・重要イディオムの意味を理解し、文脈に合わせて使うことができる。慣用的に用いられる英単語の組み合わせ（コロケーション）を使えるようにする。</li> <li>● 会話で用いられるフレーズを正確に理解し、文脈や状況に合わせて使い分けができる。</li> <li>● 可算名詞・不可算名詞を区別して使うことができる。</li> <li>● 重要文法事項の解説と、解法の手順の説明を通して、英文を正しく読んだり書いたりする力、自分で問題を解いていく力をつける。</li> <li>● 品詞や語法に合わせて正しく形容詞や副詞を使うことができる。</li> <li>● 意味が似ている前置詞を区別し、正しく使い分けすることができる。</li> <li>● 文と文を正しくつなぎ、文を組み立てることができる。</li> <li>● それぞれの品詞の文中での働きを理解することができる。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson 17 代名詞の語法</li> </ul>		
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson 19 疑問文</li> <li>● Lesson 20 否定・倒置・省略・強調</li> </ul>		
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson12 前置詞</li> <li>● Lesson13 形容詞の語法</li> <li>● Lesson14 副詞の語法</li> <li>● Lesson16 名詞の語法</li> </ul>		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。